

2020年3月期第1四半期 決算説明資料

2019.8.1

TIS株式会社



2020年3月期第1四半期 業績概要

2020年3月期 業績見通し

参考資料

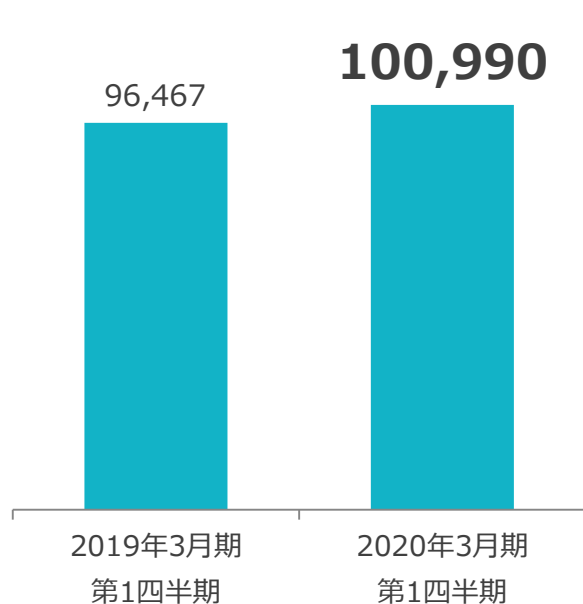
2020年3月期第1四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前年同期比増収増益。

売上高

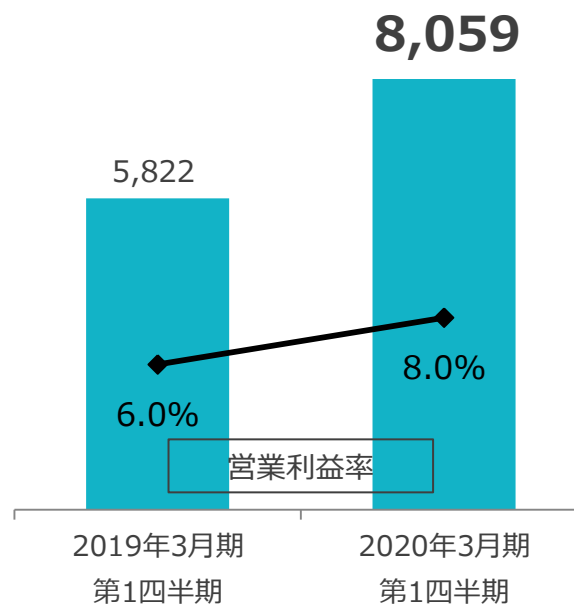
● 前年同期比 +4,522百万円 (+4.7%)



IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。

営業利益

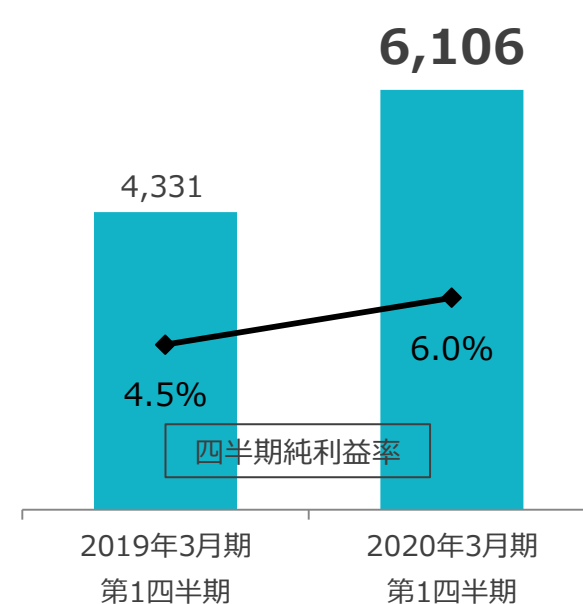
● 前年同期比 +2,237百万円 (+38.4%)



増収効果や収益性向上による売上総利益の増加が、構造転換に向けた対応強化等に伴う販管費の増加を吸収し、前年同期比増益。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

● 前年同期比 +1,774百万円 (+41.0%)



主に営業利益の増加に伴い、前年同期比増益。

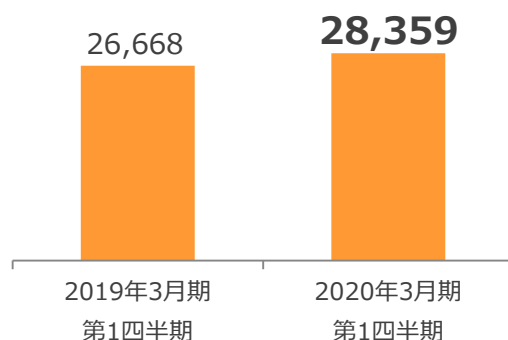
2020年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況①

(単位：百万円)

サービスIT

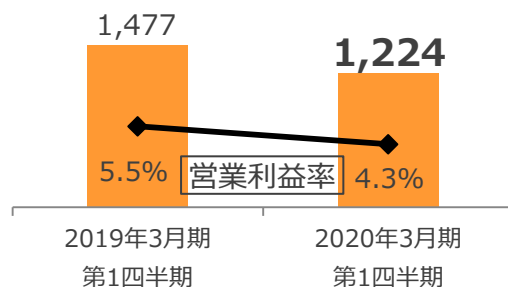
売上高

● 前年同期比 +1,690百万円 (+6.3%)



営業利益

● 前年同期比 ▲252百万円 (▲17.1%)

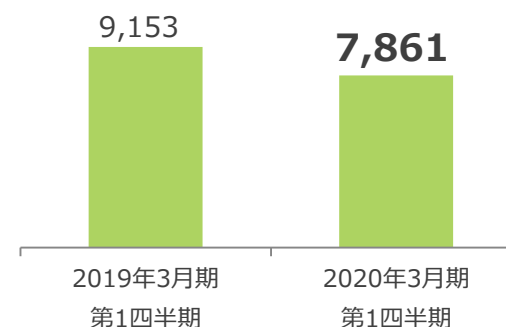


売上高は決済関連ビジネスの拡大やERP更新需要の強まり等により前年同期比増収。営業利益は、事業強化のための先行投資費用増加等により、前年同期比減益。

BPO

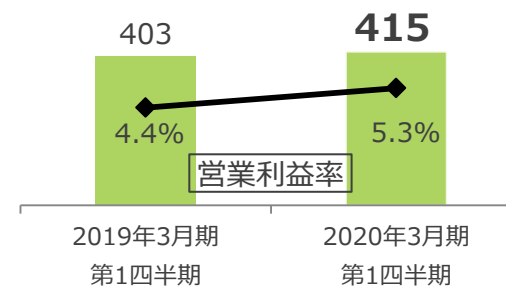
売上高

● 前年同期比 ▲1,292百万円 (▲14.1%)



営業利益

● 前年同期比 +11百万円 (+3.0%)



前年度にコア事業への集中の一環として実施した子会社売却の影響が大きく、前年同期比減収ながら増益。

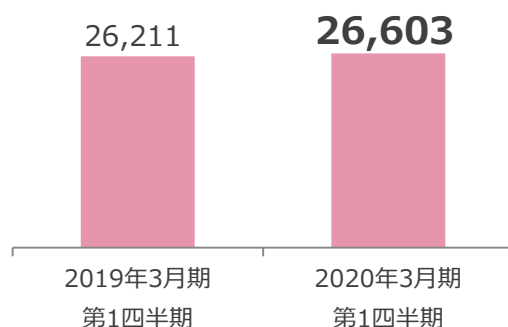
2020年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況②

(単位：百万円)

金融IT

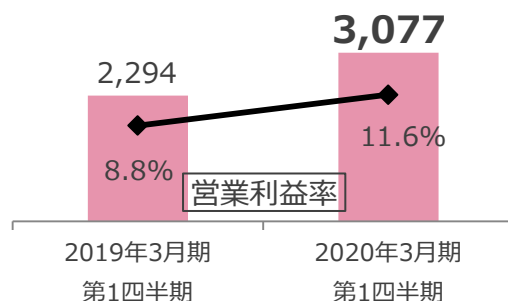
売上高

● 前年同期比 +391百万円 (+1.5%)



営業利益

● 前年同期比 +783百万円 (+34.1%)

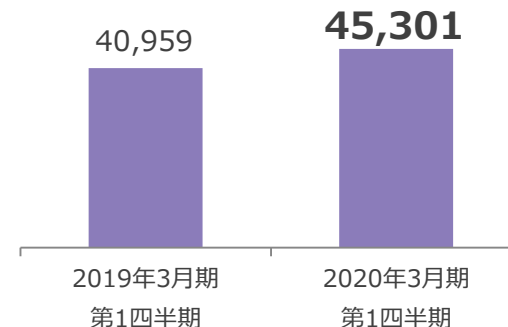


大型開発案件の反動減の影響はあったものの、根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等を受けて前年同期比増収増益。

産業IT

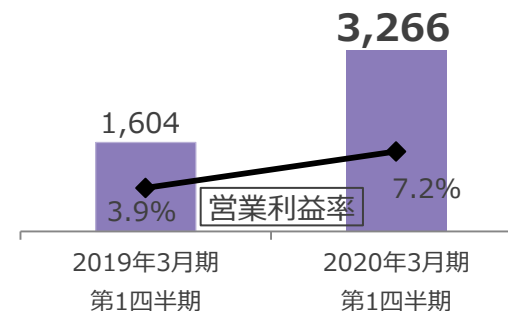
売上高

● 前年同期比 +4,342百万円 (+10.6%)



営業利益

● 前年同期比 +1,661百万円 (+103.6%)



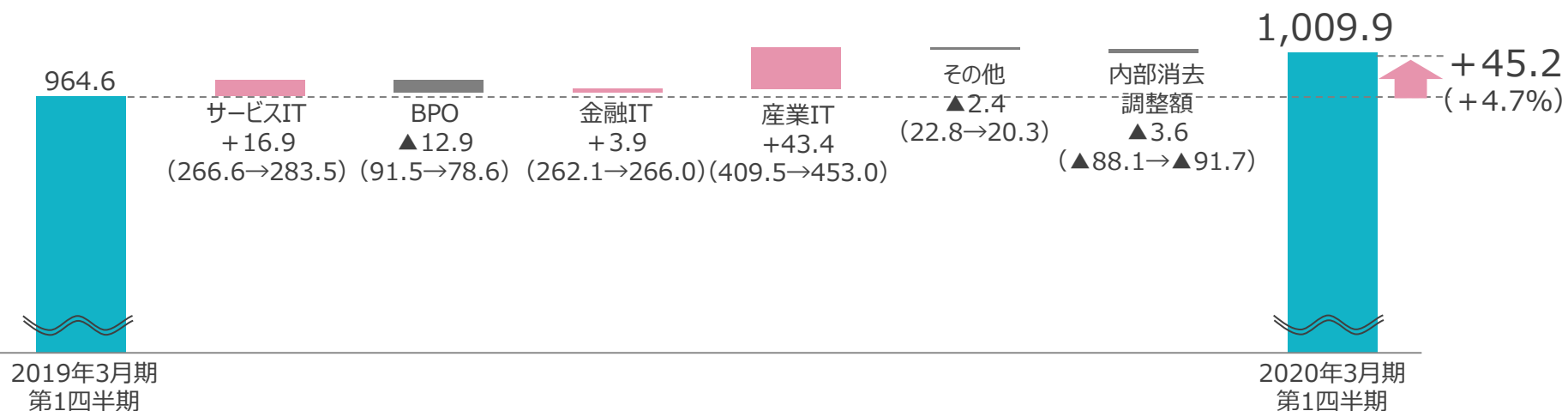
エネルギー系や製造業系の根幹先顧客をはじめとする幅広い顧客のIT投資拡大の動き等により、前年同期比増収増益。

※特定顧客向け提供サービスに活用するノウハウが産業系から金融系に変更となったことに伴い、当該顧客との取引は前期は産業IT、当期は金融ITに計上されています。

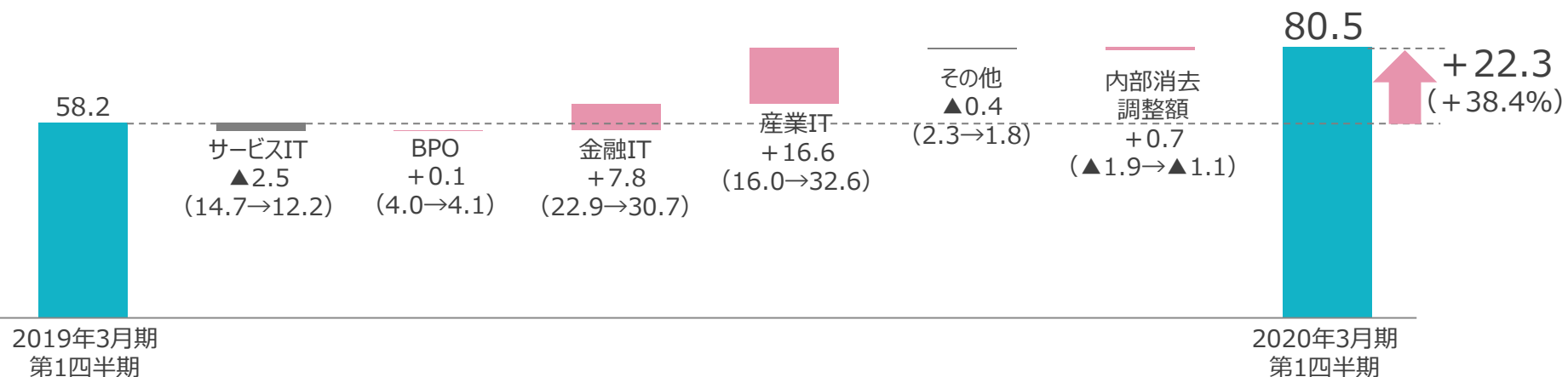
2020年3月期第1四半期 売上高・営業利益増減分析

(単位：億円)

売上高

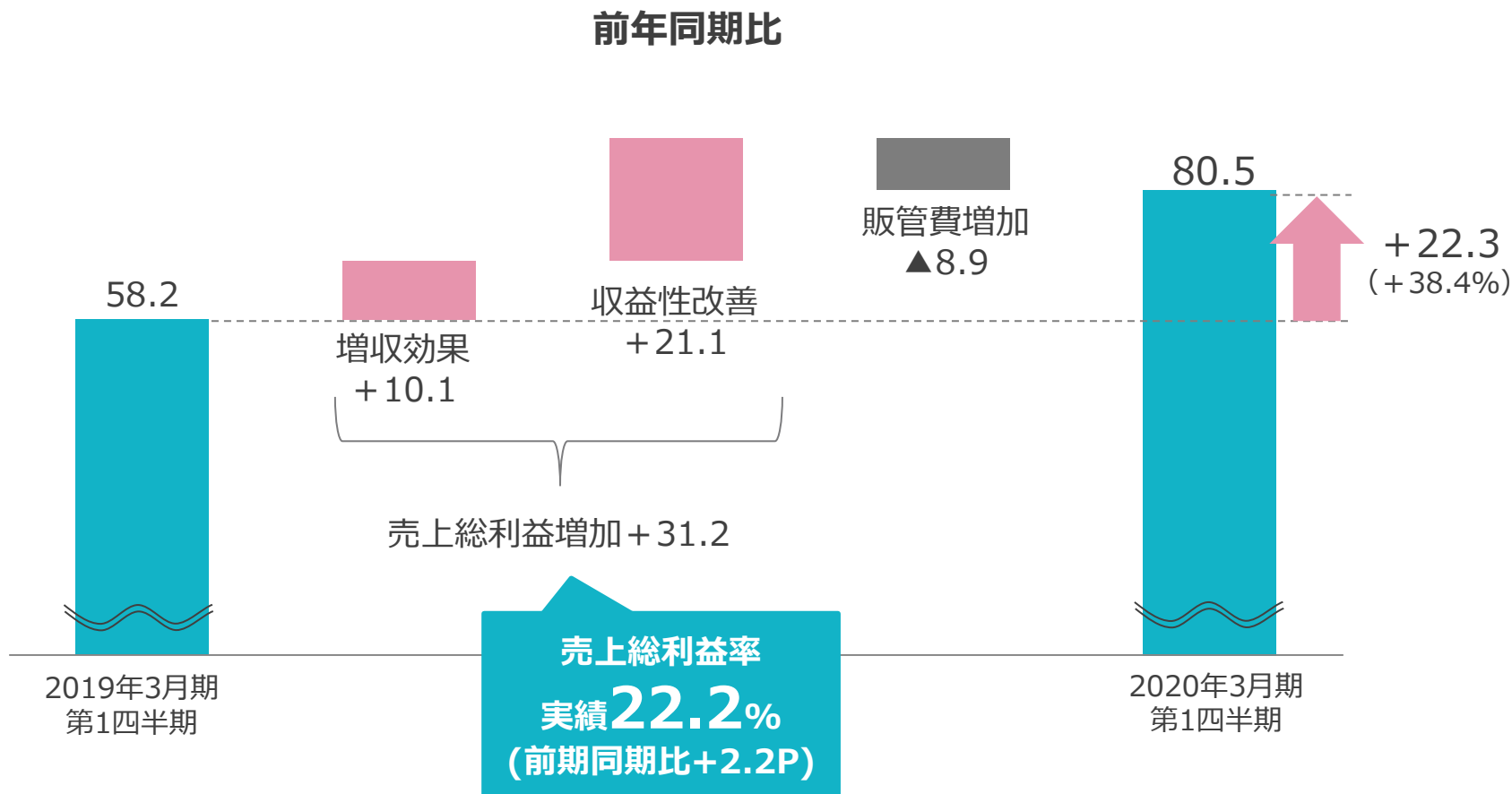


営業利益



2020年3月期第1四半期 営業利益要因別増減分析

(単位：億円)

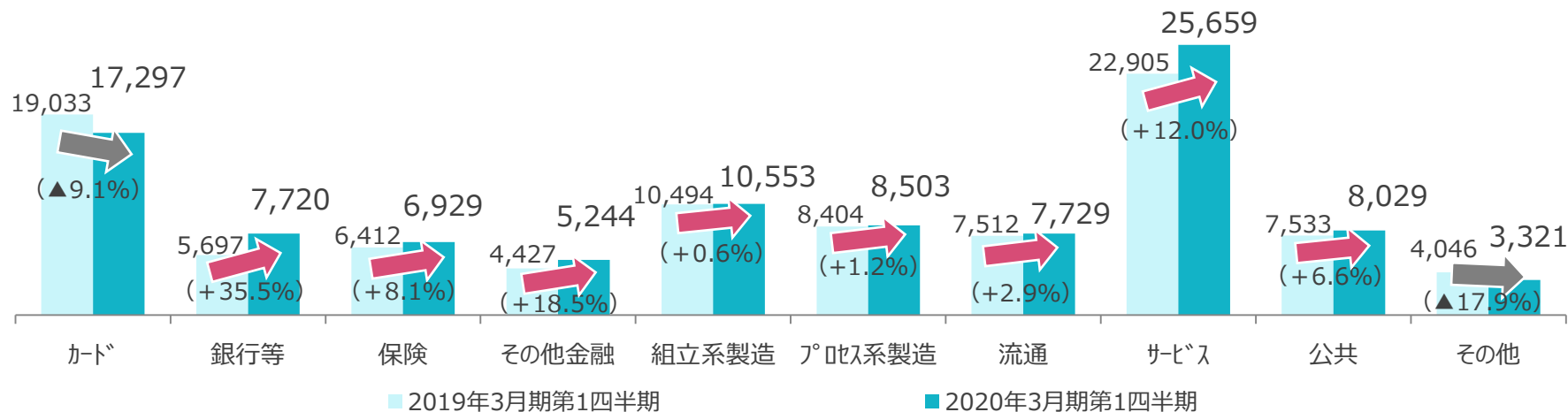


構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比 + 4.1

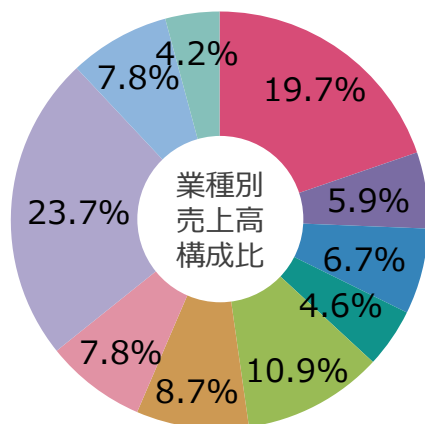
- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- } に関するコスト

2020年3月期第1四半期 顧客業種別売上高

(単位：百万円)

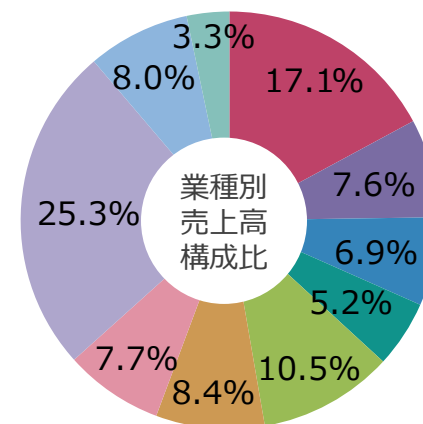


<2019年3月期第1四半期>



金融分野：36.9% 産業分野：51.1%
公共分野：7.8% その他：4.2%

<2020年3月期第1四半期>



金融分野：36.8% 産業分野：51.9%
公共分野：8.0% その他：3.3%

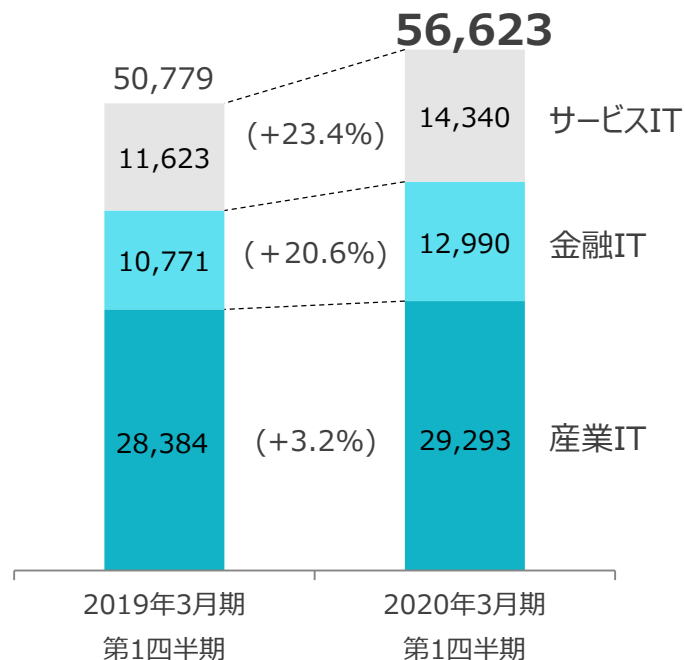
2020年3月期第1四半期 受注状況（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）

・当期受注高、期末受注残高とも積み上がり、前年同期比10%超と好調を継続。
 なお、産業ITの受注高は小幅増ながら高水準を継続。

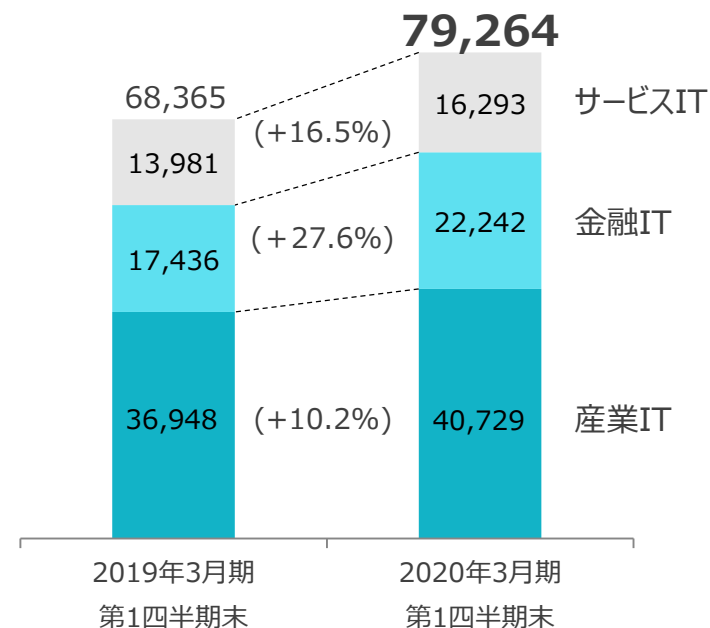
受注高

● 前年同期比 +5,844百万円（+11.5%）



期末受注残高

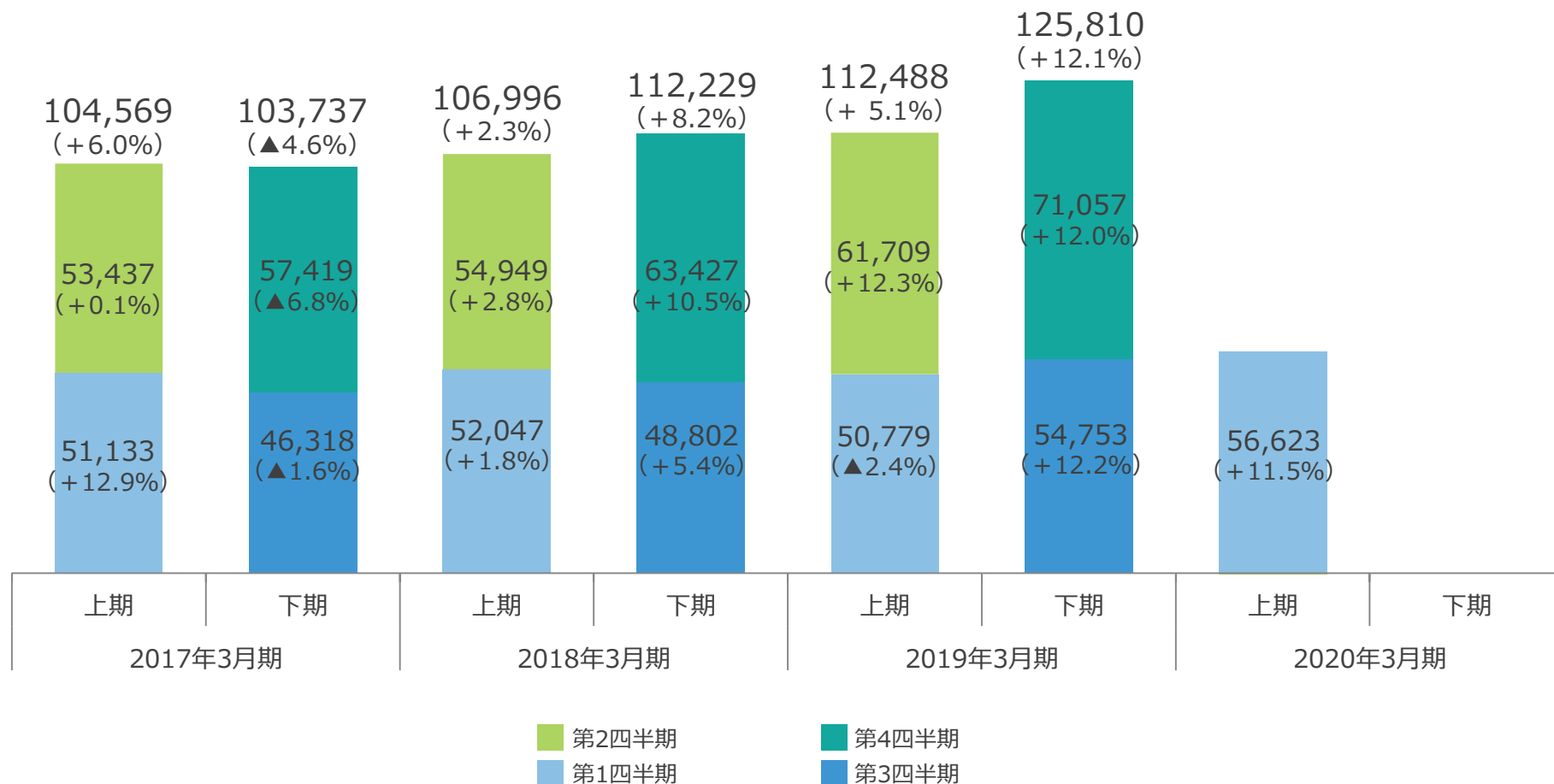
● 前年同期比 +10,899百万円（+15.9%）



※特定顧客向け提供サービスに活用するノウハウが産業系から金融系に変更となったことに伴い、当該顧客との取引は前期は産業IT、当期は金融ITに計上されています。

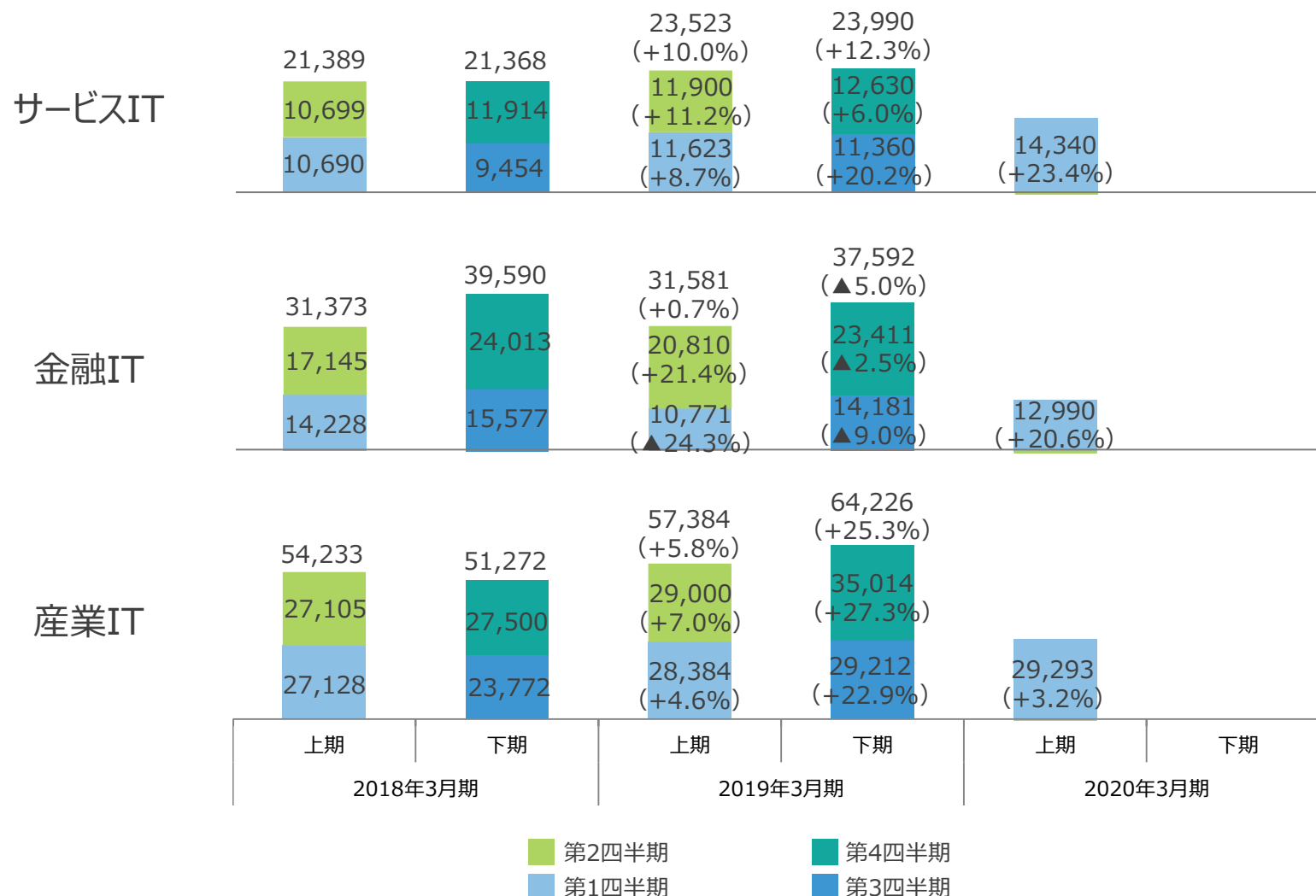
受注高の推移（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）



受注高の推移（ソフトウェア開発，セグメント別）

（単位：百万円）



※特定顧客向け提供サービスに活用するノウハウが産業系から金融系に変更となったことに伴い、当該顧客との取引は前期までは産業IT、当期からは金融ITに計上されています。

2020年3月期第1四半期 業績概要

2020年3月期 業績見通し

参考資料

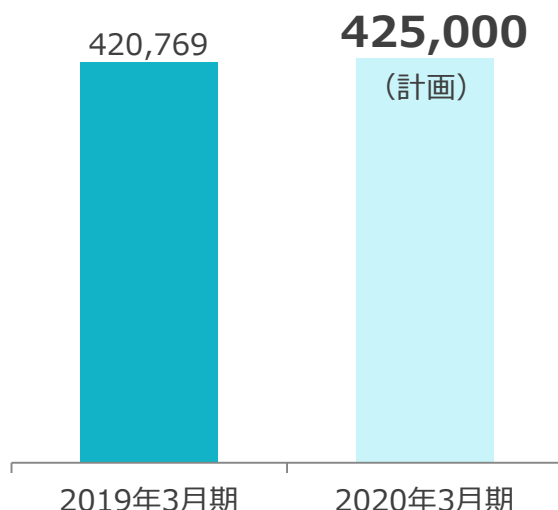
2020年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

・堅調な事業環境の中、中期経営計画で掲げる構造転換を推進するため、成長・得意領域へ積極的な投資を実行。大型案件の反動減や投資コスト増を吸収し、増収増益を目指す。課題の解決をリードする企業に変革していくことが、ビジネスの成長に不可欠と認識。
⇒期初計画値の変更はなし。

売上高

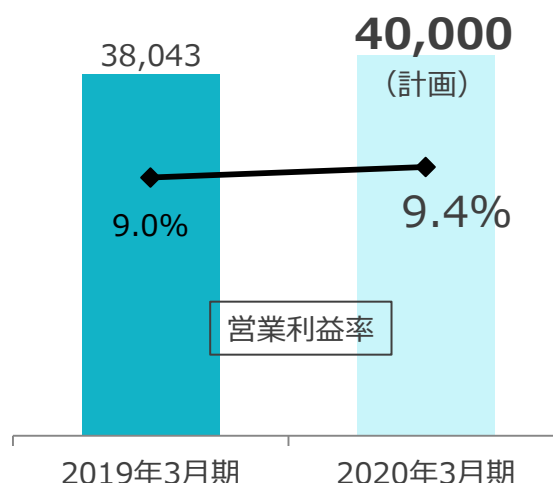
● 前期比+4,231百万円 (+1.0%)



サービスIT及び産業ITを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、子会社売却の影響を吸収し、前期比増収を見込む。

営業利益

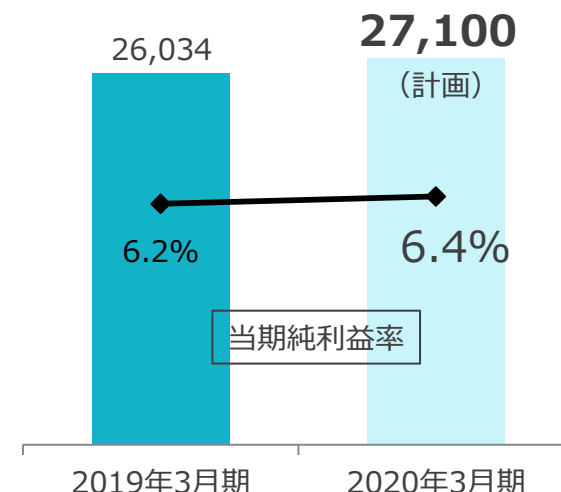
● 前期比+1,957百万円 (+5.1%)



増収効果、生産性向上等を継続推進。先行投資型へのシフト等、構造転換に向けた投資等のコスト負担増を吸収し、前期比増益を見込む。

親会社株主に帰属する 当期純利益

● 前期比+1,066百万円 (+4.1%)



営業利益の増加や、特別損益の改善に伴い、前期比増益を見込む。

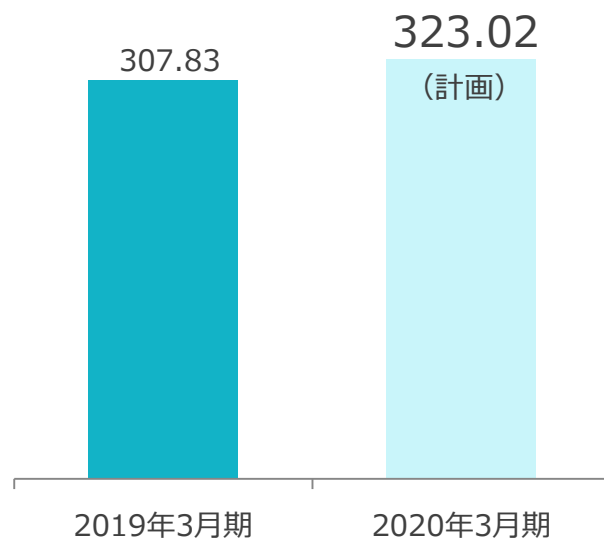
2020年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは「2021年3月期の12%達成」に向け、期初試算では11.5%の水準を維持。

一株当たり当期純利益

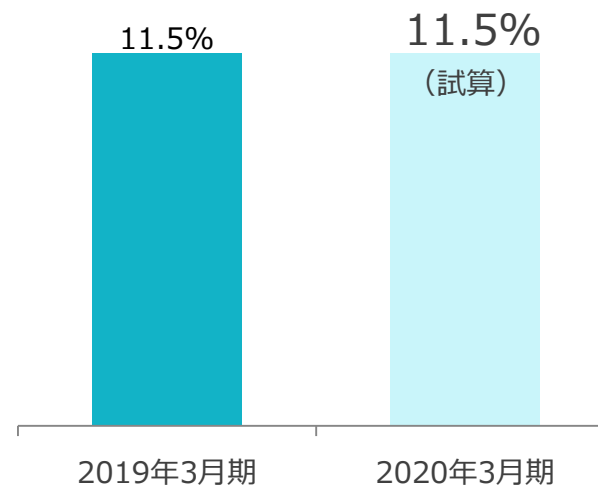
● 前期比 +15.19円 (+4.9%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上を見込む。
(自己株式の取得状況を受けて、期初予想値を変更)

自己資本当期純利益率 (ROE)

● 前期比 +0.0P



「2021年3月期の12%達成」に向け、期初試算では11.5%の水準を維持。

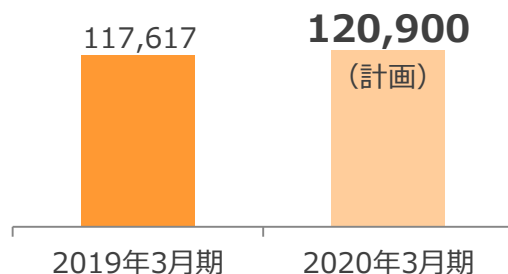
2020年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）①

（単位：百万円）

サービスIT

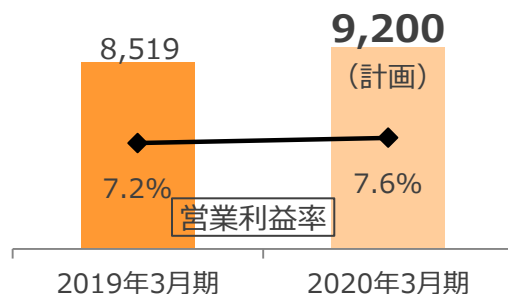
売上高

● 前期比+3,283百万円（+2.8%）



営業利益

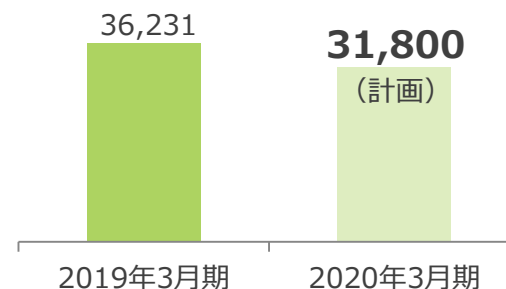
● 前期比 +681百万円（+8.0%）



BPO

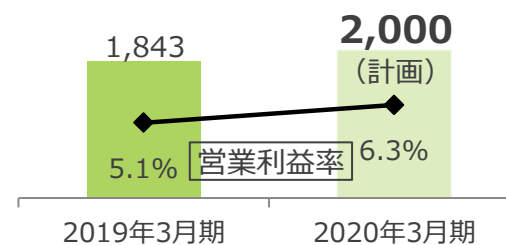
売上高

● 前期比▲4,431百万円（▲12.2%）



営業利益

● 前期比 +157百万円（+8.5%）



クラウド・ネットワーク等成長分野でのIT投資の取込みや、決済ビジネス、ERP需要拡大の確実な取込みが先行投資コスト負担を吸収し、前期比増収増益を見込む。

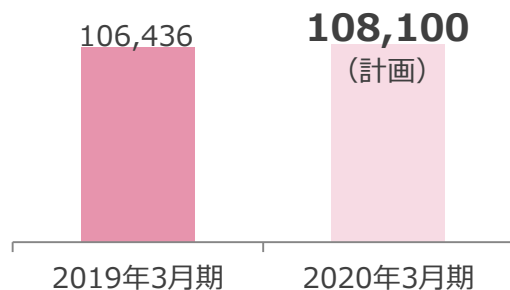
子会社売却の影響により前期比減収も、採算管理徹底による構造改革、高度化した複合型BPO事業へのシフトにより利益率を改善させ、前期比増益を見込む。

2020年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）②

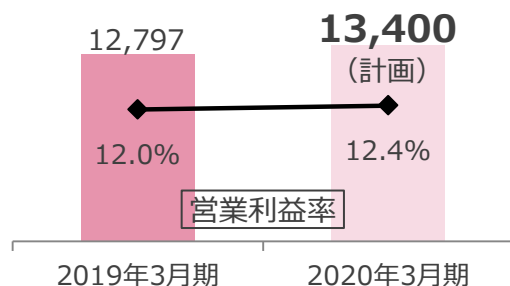
（単位：百万円）

金融IT

売上高

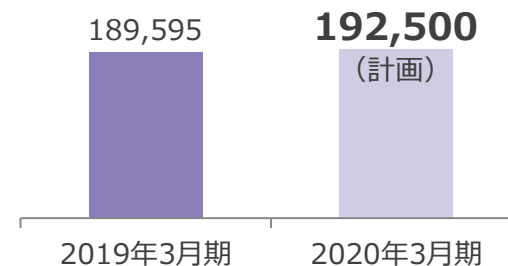
● 前期比 + **1,664**百万円（+ **1.6**%）


営業利益

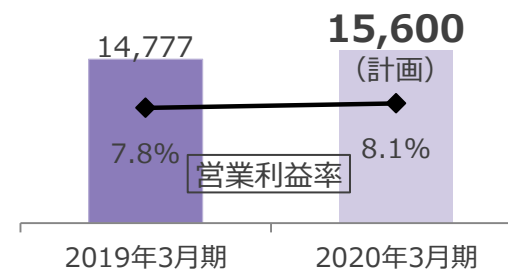
● 前期比 + **603**百万円（+ **4.7**%）


産業IT

売上高

● 前期比 + **2,905**百万円（+ **1.5**%）


営業利益

● 前期比 + **823**百万円（+ **5.6**%）


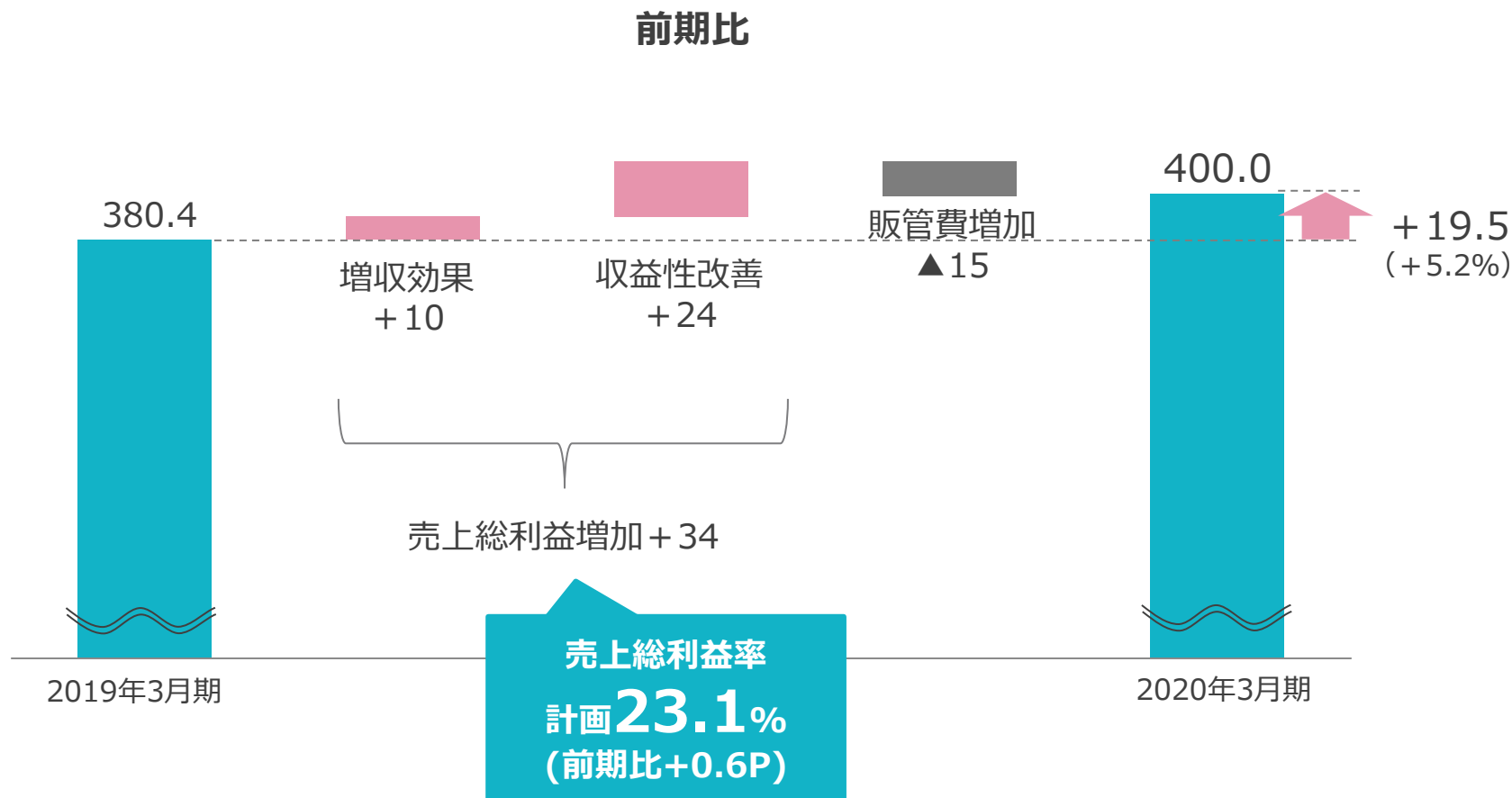
大型案件の反動減あるも、根幹顧客との関係強化や付加価値ビジネスの推進、生産性改善等により前期比増益を見込む。

コンサル・上流ビジネス強化による高付加価値ビジネスの推進、生産性改善の取組等により、前期比増収増益を見込む。

※特定顧客向け提供サービスに活用するノウハウが産業系から金融系に変更となったことに伴い、当該顧客との取引は前期は産業IT、当期は金融ITに計上されています。

2020年3月期 営業利益要因別増減分析（予想）

（単位：億円）



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比 + 25

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- } に関するコスト

2019年3月期第1四半期 業績概要

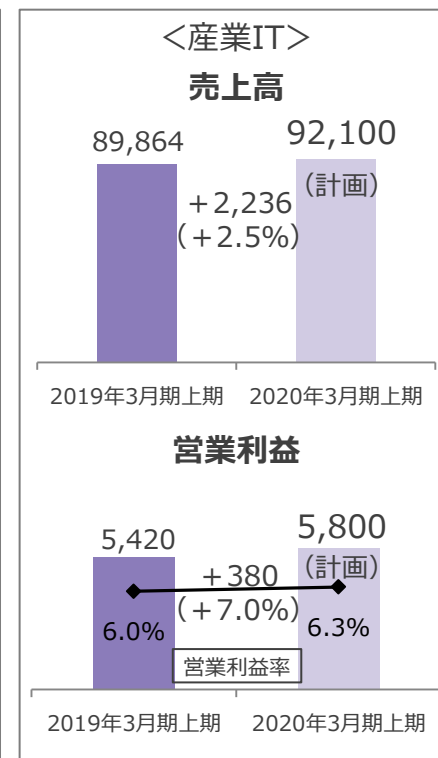
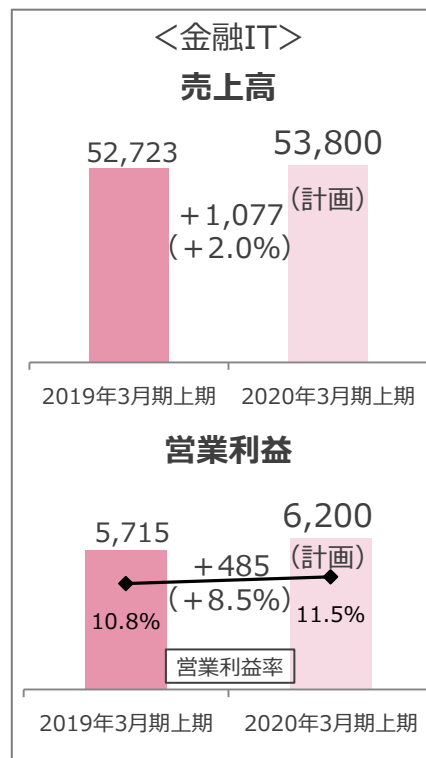
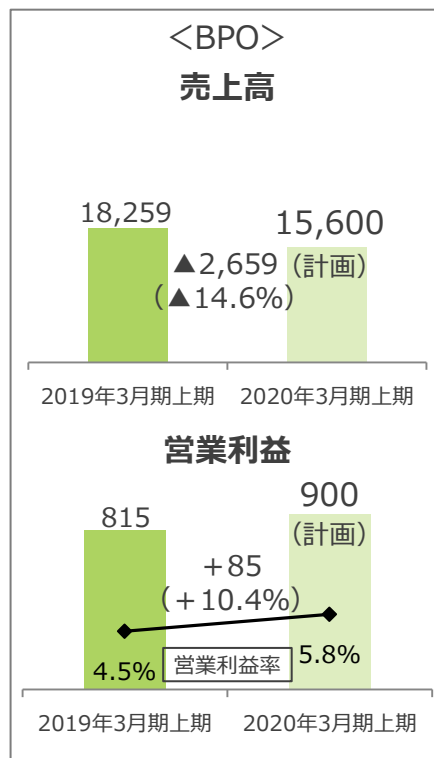
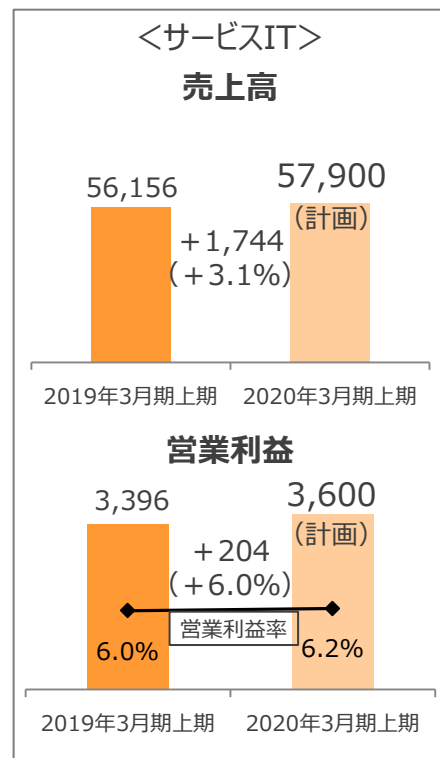
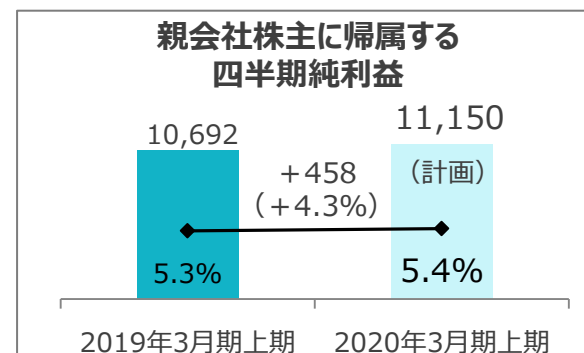
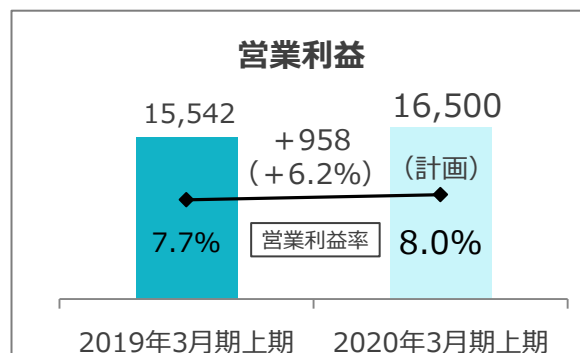
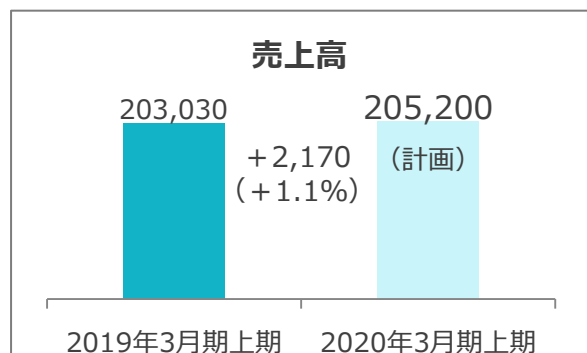
2020年3月期 業績見通し

参考資料

2020年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

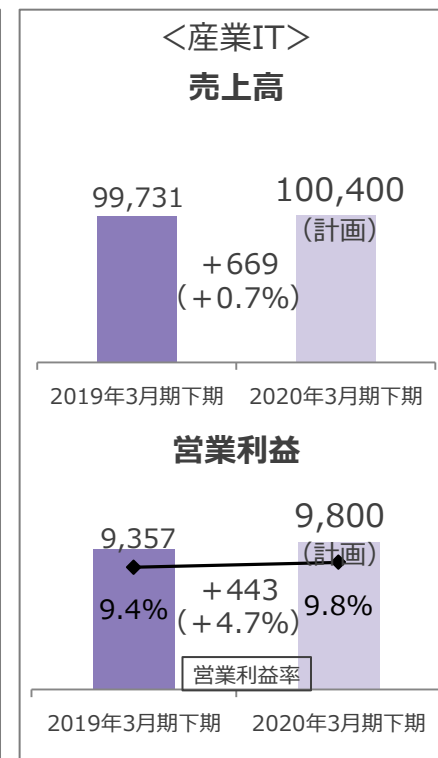
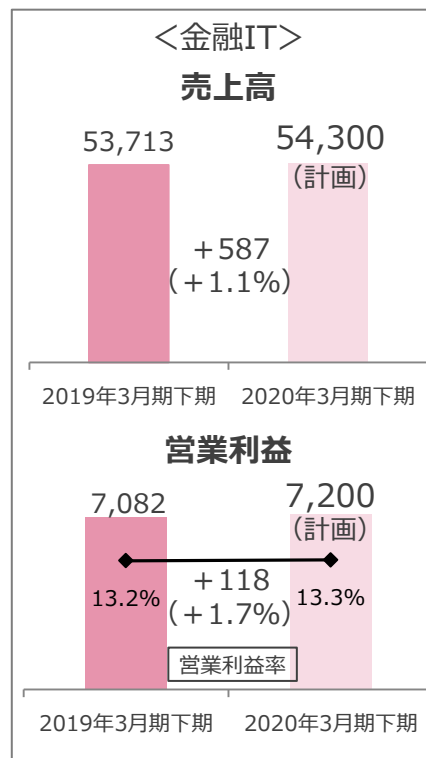
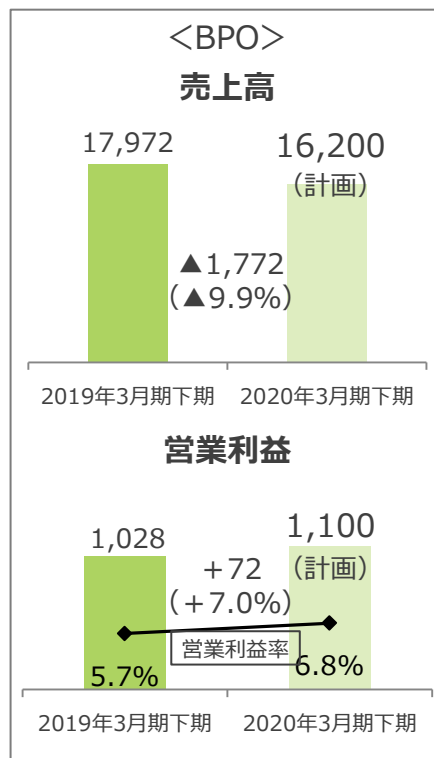
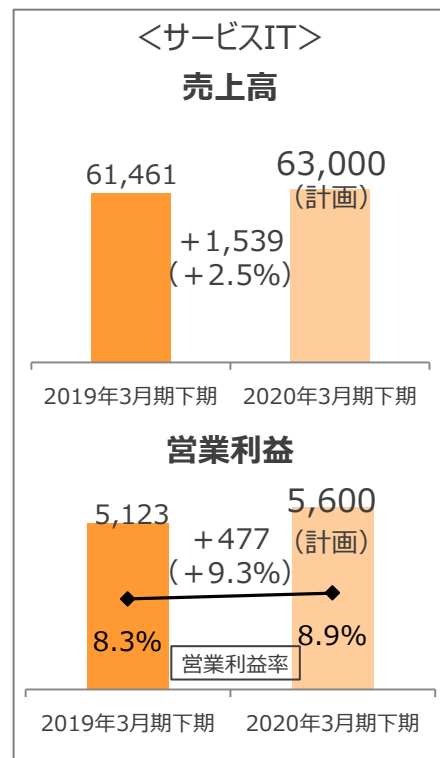
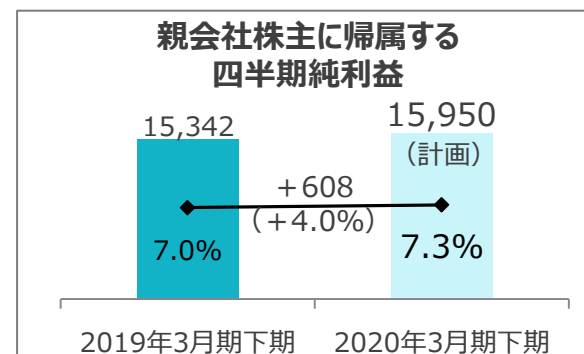
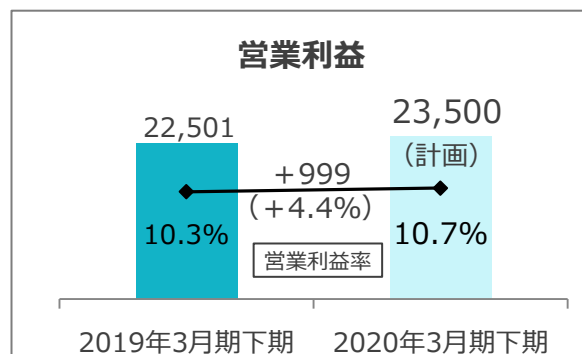
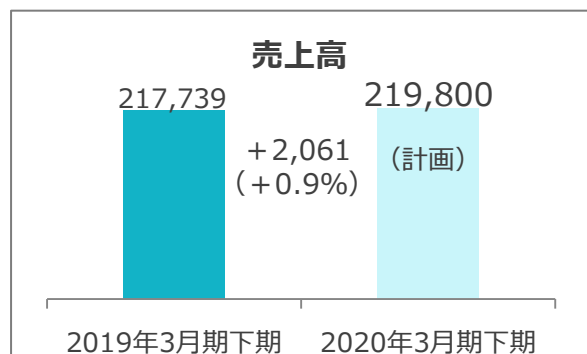
（単位：百万円）



2020年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2019年4月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2019年4月1日	クオリカ、データロンから全事業を譲受
2019年4月1日	A J S、AIベンチャー企業のクロスコンパスと資本業務提携
2019年4月3日	クオリカ、タッチパネル情報端末の新モデル「WebLightRXP」を発売
2019年4月8日	中央システムのクラウド勤怠管理システム『レコル』、2019年4月施行の働き方改革関連法に対応
2019年4月9日	A J Sとタレント、旭化成にデジタル面接「HireVue」を導入
2019年4月10日	TIS、会津若松のICTオフィス「AiCT」に拠点開設
2019年4月16日	TIS、米国ベンチャーファンド「Sozo Ventures II -S」へ出資
2019年4月17日	ネオアクシス、IBM iのインターネットEDIツール「Toolbox JXクライアント」に『XML変換機能』を追加
2019年4月18日	TISとラックがクラウドおよびセキュリティ領域で協業
2019年4月18日	インテックとA J S、旭化成へID統合システム「束人」を導入
2019年4月18日	A J S、AIベンチャー企業のスカイディスクと資本業務提携
2019年4月19日	TIS、官民データ活用共通プラットフォーム協議会（DPC）のデータ連携のための国際標準「NGSI」の接続実証に参画
2019年4月23日	インテック、ロボット開発者向け開発・管理環境ユーティリティ「RDBOX」をOSSで公開
2019年4月24日	インテック、タワー111ビル スペシャルライトアップのお知らせ ～世界赤十字デーにあわせ、赤色にライトアップ～
2019年4月25日	TIS、オリックス生命の支払査定業務のスピード化を支援
2019年4月26日	日経CNBC 朝エクスプレス「トップに聞く」に当社社長の桑野が出演
2019年5月7日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2019年5月9日	TIS、人の行動パターンに特化したAI技術を展開するシンガポールのスタートアップ企業「SQREEM社」と資本・業務提携
2019年5月9日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2019年5月10日	ソニー銀行がVisaデビットの利用制限をカード会員自身で解除できる機能を「Sony Bank WALLET アプリ」に世界初採用
2019年5月13日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2019年5月13日	定款の一部変更に関するお知らせ

2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2019年5月13日	自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2019年5月14日	TISの人事異動のお知らせ
2019年5月14日	ネクスウェイ、帳票発行を自動化するクラウドサービス『FNX e-急便WEB発行サービス』をリリース
2019年5月15日	インテックの「F ³ （エフキューブ）AML（アンチ・マネー・ローンダリング）共同サービス」がめぶきフィナンシャルグループで採用決定
2019年5月15日	インテックの「F ³ （エフキューブ）AML（アンチ・マネー・ローンダリング）共同サービス」がふくおかフィナンシャルグループと広島銀行で採用決定
2019年5月16日	TIS、外食業界向けモバイルオーダー・セルフレジ提供のOkage社と資本業務提携
2019年5月17日	TISの「音声対話組み込みクラウドサービス」がSecualの“人と対話するカメラ”に採用
2019年5月20日	セブン・カードサービスのコールセンター業務でチャットボット活用の実証実験を実施
2019年5月22日	TIS、アプリケーション開発をスピーディーかつセキュアに実現する「エンタープライズ向けコンテナサービス」を提供開始
2019年5月29日	TIS、AIデータ分析のFlyDataに出資
2019年5月29日	インテック、家電を管理するアプリ「家電手帳」を提供開始
2019年6月3日	TISの人事異動のお知らせ
2019年6月3日	TIS、発想支援クラウドサービス「AIブレストスパーク」を提供開始
2019年6月4日	ネオアクシス、企業内検索エンジン「Neuron」でNotesコンテンツの検索を可能とする「Neuron Notes コネクター」の提供を開始
2019年6月6日	TIS、「RPA管理統制基盤サービス」を提供開始
2019年6月6日	アグレックスとアジリス・イノベーションが業務提携し、ビジネスプロセスを再構築する「ビジネス変革サービス」を提供開始
2019年6月7日	自己株式の取得状況に関するお知らせ
2019年6月10日	TIS、あくしゅ、LTE-X、ボイドルーターシステムズ、の4社で「Interop Tokyo 2019」に出展
2019年6月11日	TISと電気通信大学が大容量コンテンツ活用のためのキャッシュ技術の実証実験を実施
2019年6月12日	TIS、運用自動化で企業のクラウドシフトを実現する「次世代統合運用管理基盤」を提供開始
2019年6月13日	TIS、パーソナルデータ管理サービス「paspit for X」の販売代理店契約を締結
2019年6月13日	インテック、「トランボリン日本代表」オフィシャルトップスポンサーに就任
2019年6月14日	TIS、終日テレワークを主とする働き方「テレワーカー」や「勤務間インターバル制度」「スマートワーク手当」を新設
2019年6月17日	連結子会社の人事異動のお知らせ

2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2019年6月17日	マイクロメイツ、「Windows10 Office 移行支援サービス」の対象にOffice2019 を追加
2019年6月17日	インテック、「mcframe Award 2019」で「Most Excellent Partner」を3年連続受賞
2019年6月18日	TISのモバイルウォレットソリューション「WalletEVO」がVisaの「トークン・リクエストTSP」に国内初で認定
2019年6月19日	TIS、AWSの「金融サービスコンピテンシー」認定を取得
2019年6月20日	連結子会社の人事異動および機構改革のお知らせ
2019年6月25日	投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について
2019年6月26日	アグレックス、損保ジャパン日本興亜保険サービスに位置情報付与ライブラリ「AP-GeoMarker」を提供し、営業店の訪問活動効率化を支援



<ロゴマークに込めた思い>

新たな挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現されるロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである『IT』2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としてのTISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

<ブランドメッセージ「Go Beyond」>

現状に満足せず、常に新たなチャレンジを求めて「その先に向かって」歩み続ける。クライアントの課題をクリアするだけでは満足せず、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして、「一歩進んだ提案をしていく」という当社グループの強い意思を表明しています。

(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・2019年3月期から構造転換の推進に向けた当社マネジメント体制の変更に伴い、セグメント区分を変更しています。2018年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。